

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		友愛メルヘン橋エレベーター整備事業（都市再生整備計画事業）						予算事業名		エレベーター整備事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	都市再生特別措置法 建築基準法 道路法			
				08	03	07	2501	経常経費					
総合計画体系		住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう						事業の区分		主要事業			
		コンパクトで魅力あるまちづくり											
		計画的な市街地の形成						担当課係等		都市計画課 住宅公園係			
事業期間		継続 （令和 2年度～令和 6年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
結城駅に係る自由通路である友愛メルヘン橋は、バリアフリー化されていなかったことから、南北のヒト、商業、観光などの流動の妨げとなっており、エレベーターを設置することにより、人の流動を活性化させ、市街地の回遊を楽しめる空間を提供する。							地域住民及び観光客等を対象とした整備						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
都市再生整備計画事業【高質空間形成施設】 R2 友愛メルヘン橋エレベーター設置基本設計 R2(繰) 友愛メルヘン橋エレベーター設置整備実施設計 R4 友愛メルヘン橋エレベーター整備工事							地域住民及び観光客等を対象とした整備						
							【事業をとりまく環境の変化】 駅に訪れる人、メルヘン橋の利用率も変化することが予想され、バリアフリー化することから、多少なりとも、観光、商業の活性化に寄与することができる。						
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】					
R4 友愛メルヘン橋エレベーター整備工事													

■事業費			R02年度	R03年度			
財源内訳	国庫支出金		880	4,800			
	県支出金		0	0			
	地方債		1,100	9,100			
	その他		0	0			
	一般財源		220	1,100			
歳入計（千円）			2,200	15,000			
歳出内訳	節（番号＋名称）		金額（千円）	金額（千円）			
	12 委託料		2,200	15,000			
歳出計（千円）（A）			2,200	15,000			
伸び率（％）				581.81			
備考	総合計画 64 ページ						

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	エレベーター設置台数(自由通路)	基	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	1.00	1.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市庁舎の移転に伴い駅を中心とした人の流動が変化することが予想され、施設改修や改善することは必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	公共施設のため整備は市で行うべきである。
	手段の妥当性	A 妥当である	国の交付金事業であり、都市再生整備計画事業により行う事業である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	交付金、起債など計画を立て活用し、コスト削減に努める。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民観光客を対象とした整備を目指している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	交付金も順調に配分されている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	事業前倒しも含め、早期整備完了に向け進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
業務を行ううえで、担当職員の不足のため、一人の負担が大きい。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
都市再生整備計画事業に位置付けられた事業で、年度計画を立て、令和4年度までに整備完了を目指す。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 交付金を活用し、令和4年度整備完了に向けて事業を実施していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	